

お客さま本位の取り組み

2024年度

三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメントのお客さま本位の取組方針

取組方針

取組状況

投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

- 三菱UFJアセットマネジメント株式会社（以下、当社）では、三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下、MUFG）共通の指針となる「[MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針](#)」に基づき、お客さま本位の取り組みの徹底を図るため、当社としての「取組方針」を策定し、商品・サービスのさらなる向上に取り組んでおります。
- 当資料では、当社「取組方針」および2024年度の取組状況や具体的な指標（KPI）、取組事例を取り纏めてお示ししますのでご覧ください。

取組方針 1

お客さま本位の徹底

【原則2・7】

【補充原則1・2】

- 当社が果たすべきフィデューシャリー・デューティー(FD)を常に探求していく不断の取り組みこそが、“資産運用を通じて「あなた」と「社会」をつなぎ、より良い未来に貢献する”ことに繋がるとの考えから、FDを当社役職員に求められる思考様式・行動様式として位置づけ、全役職員でこれに取り組んでいます。
- 社会における当社の存在意義を踏まえた[経営ビジョン](#)等を制定、「顧客の最善の利益の追求」としてお客さまの目線を重視した商品の組成・管理、品質の高い運用・情報提供を安定的かつ継続的に提供することを実践してまいります。
- 資産運用会社として経営の独立性・透明性を高めたガバナンス体制を構築するとともに、外部の意見等を取り入れる態勢を整備し、お客さまの目線からの見方・声を業務の運営や改善に反映しています。

取組方針 2

お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供

【原則2・6】

【補充原則2・3・4】

- お客さまの投資目的やリスク許容度を踏まえ、資産運用に係る動向もとらえた商品の開発に努めます。また、商品開発にあたっては自社の運用ノウハウを駆使するほか、国内外の幅広い運用機関ネットワークを活用し、お客さまの資産運用に資する商品ラインアップを拡充してまいります。
- それぞれの商品の想定顧客属性を特定し、目的や役割に合致した運用が継続可能かといった定期的な検証を実施するとともに、お客さまのニーズの変化なども勘案し、最適な商品ラインアップとなるよう整備にも努めてまいります。
- 販売会社等との間で、必要に応じて販売対象となる想定顧客属性を共有し、販売状況の情報の連携を通じ、当社が想定するお客さまの保有が増えるよう取り組んでまいります。

取組方針 3

お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

【原則4・5・6】

【補充原則5】

- 商品に係るコストやリスク等の情報に加え、運用体制、商品のモニタリング体制について、お客さまの投資判断に資するよう分かりやすく適切に開示・情報提供を行っています。
- 商品の運用状況や相場変動時の投資環境、運用成果の向上に向けた取り組みについて、タイムリーな情報提供に努めてまいります。
- お客さまの長期投資に役立つ資産運用のサポートや金融商品の理解に役立つコンテンツの拡充に努め、提供していきます。

三菱UFJアセットマネジメントのお客さま本位の取組方針

取組方針

取組状況

投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

取組方針

5

お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

【原則3・6】

【補充原則2・3・4】

- 運用のプロフェッショナルとして、徹底した調査・分析と適切な運用判断により付加価値を創造し、最良の投資成果をお客さまに提供していくことをめざします。また、運用実績のモニタリングを通じ、ファンドの提供価値の維持・向上に継続して取り組んでまいります。
- 運用人材の育成・強化による強固な運用体制を構築することを通じて、運用力の更なる向上に努めます。加えて、グループ内外の運用力を活用するとともに、海外の運用機関等も活用した運用ノウハウを蓄積し、多様化するお客さまのニーズにお応えしてまいります。
- 受託者責任の観点から、運用を委託された資産の最良執行に努め、お客さまの収益拡大に寄与する取り組みの高度化をめざします。
- スチュワードシップ活動を通じてスチュワードシップ責任を果たすとともに、株主利益と持続的な企業価値の向上に努め、お客さまの利益最大化をめざします。
- 利益相反管理方針を定め、お客さまからお預かりしている資産の運用における利益相反管理の徹底に努めています。

取組方針

8

快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備

【原則6】

【補充原則3・4】

- お客さまが投資運用サービスを身近に受けられる世界を実現できるよう、直販サービスの利便性向上に加え、市場動向やファンド関連の情報発信を通じ、お客さまが安心してお取引いただける態勢を整備しています。
- なお、想定するお客さまに販売ができているのかについては定期的に検証を行うこととし、検証結果は必要に応じ、当該商品を開発・運用する者へ連携し、品質の改善・向上を図ってまいります。
- 金融リテラシー向上の取り組みを通じ、各世代の自立的な資産形成に貢献してまいります。

取組方針

9

プロフェッショナリズムの発揮

【原則2・7】

- 一人ひとりがプロフェッショナル人材としてお客さまの最善の利益を追求するために、研修等を通じた知識・スキルの向上に努め、お客さまからの更なる信頼の獲得をめざします。
- 優秀な運用人材および競争力のある運用体制を構築するために、人材育成に係る環境・ツールや適切な競争を促す人事評価・報酬体系を整備してまいります。

※ 「取組方針」の項番「1～3、5、8～9」は、「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」の各項目「1～9」に対応しています。

※ 「取組方針」横に記載のスタンプ【原則●】【補充原則●】は、金融庁公表の「[顧客本位の業務運営に関する原則](#)」(2024年9月改訂)との対応関係を示しています。

コーポレートガバナンスの取り組み 監査等委員会設置会社への移行

- 当社は、2025年6月に監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行いたしました。資産運用会社を取巻く環境は、資産運用立国の実現などに向けた変化が一層大きく、投資家をはじめとするステークホルダーからの期待が増している中、その変化に対してより柔軟かつ迅速に対応できる体制を構築することを必要としています。
- このため、監査等委員会設置会社に移行することにより、取締役会から取締役会への重要な業務執行の委任によるスピードある執行の確保を可能とするともに、取締役会による経営戦略等に関する議論の充実などを図ってまいります。

監査等委員会設置会社（移行前の体制）

社外 社内

取締役会 [取締役:13名]

社外取締役
取締役*
業務執行取締役

監査役会 [監査役:3名]

社外監査役
社外監査役（常勤）
監査役（常勤）

監査等委員会設置会社（移行後の体制）

取締役会 [取締役:12名]

【取締役（監査等委員以外）:7名】
社外取締役
取締役*
業務執行取締役

監査等委員会

【監査等委員である取締役:5名】
社外取締役 監査等委員
社外取締役 常勤監査等委員
取締役 常勤監査等委員

* 非業務執行取締役

コーポレートガバナンスの取り組み コーポレートガバナンスページの開設

- ホームページに「コーポレートガバナンス」のページを開設し、経営の透明性・客観性の向上に関する取り組みを分かりやすく伝えているほか、取締役の経歴や知見・専門性を可視化した「スキルマップ」も掲載しています。

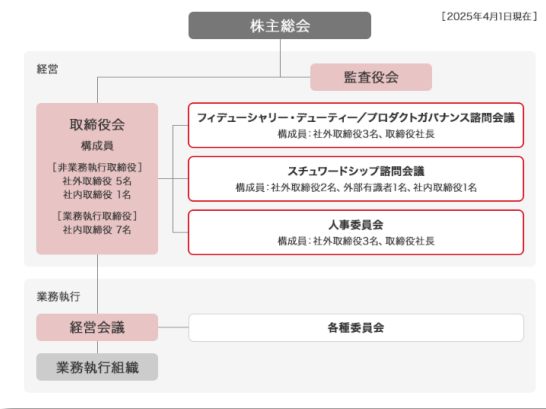
コーポレートガバナンス 掲載イメージ

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス体制

コーポレートガバナンス体制

- 当社は、経営の監督・意思決定を行う取締役会と、それを監督する監査役会のもと、経営会議およびその傘下の各種委員会や組織で業務執行にあたっています。
- また、資産運用会社としての独立性を確保するため、「社外の視点」を重視し、取締役会において社外取締役が業務の執行状況を監督するとともに、社外からの目録の導入が特に必要な取り組みについては社外取締役・外部有識者を構成員とする諮問会議等を設置して監督機能を強化することで、安定的で実効性の高いコーポレートガバナンス体制を構築しています。



三菱UFJアセットマネジメントのコーポレートガバナンス

https://www.am.mufig.jp/corp/about/corporate_governance.html

- ・ 当社が投資信託を通じ、お客さまの大切なご資金をお預かりするという役割の重要性と、社会に果たすべき責任を踏まえ、当社の「社会における存在意義」を定義した「経営ビジョン」を定めています。
- ・ 経営ビジョンを企業活動の拠り所としながら、特に投資信託をご活用いただくお客さまの目線に立った商品・サービスの提供・品質向上に向けて重視する事項を「プロダクトガバナンス・ポリシー」として定め、お客さま本位の業務運営に取り組んでいます。

お客さま本位の徹底 経営ビジョン

- ・ 社会においてこうありたいという第三者的な視点に立ち、資産運用を社会インフラのひとつとして根付かせ、資産運用の拡大と共に成長していくとの想いを経営ビジョンとして策定しています。

経営ビジョン

「あなた」と「社会」の豊かな未来に貢献する

わたしたちは、資産運用を通じて「あなた」と「社会」をつなぎ、より良い未来に貢献します。

三菱UFJアセットマネジメントは、プロフェッショナルとして、お客さまの大切なご資金を運用する資産運用会社です。
わたしたちの「経営ビジョン」には、お客さまの資産形成・資産運用に貢献したい、持続可能な社会の実現に貢献したい、という想いが込められています。

経営ビジョン

<https://www.am.mufg.jp/corp/about/vision.html>

お客さま本位の徹底 プロダクトガバナンス・ポリシー

- ・ プロダクトガバナンスにおいて、お客さまの目線を重視する考え方のもと、大切にしていること、重視していることを「商品性」「運用管理」「開示」の3つの側面からポリシーとして制定し、さらなる品質向上に取り組んでいます。

プロダクトガバナンス・ポリシー

商品性

現在および将来、当社の投資信託を保有いただくお客さまのニーズに沿った最適な商品の組成・提供を目指します

- ・ 提供価値(ファンドの目的・特色)の明確化

運用管理

お客さまにご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているかモニタリングすることにより、投資信託を通じた提供価値の維持を目指します

- ・ 信託報酬(運用管理費用)等控除後の運用成果のモニタリングを徹底
- ・ 運用成果の追求に向けた取組みの徹底
- ・ ファンドの目的・特色が十分提供できていない場合、適時適切に対応

開示

お客さまの投資判断に必要な情報をご理解いただきやすく提供することを目指します

- ・ 正確な情報をわかりやすく提供
- ・ 様々な手段・方法で、タイムリーに情報を提供

プロダクトガバナンス・ポリシー

<https://www.am.mufg.jp/assets/pdf/corp/policy/productgovernance.pdf>

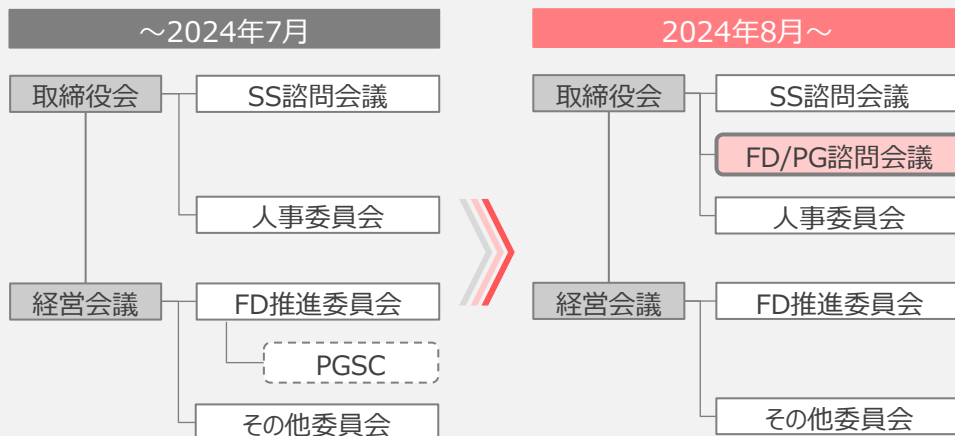
プロダクトガバナンスの取り組み

フィデューシャリー・デューティー／プロダクトガバナンス諮問会議の新設

- 当社は、これまでも経営会議傘下に「プロダクトガバナンス・サブコミティ」（以下「PGSC」）を設置し、社外取締役も参加する社内組織において、プロダクトガバナンス高度化に向けて社内外の視点を採り入れた取り組みを進めてまいりました。
- 2024年8月、PGSCを廃止し、新たに取締役会傘下に「フィデューシャリー・デューティー／プロダクトガバナンス諮問会議」（以下「FD／PG 諮問会議」）を設置し、運営を開始しています。本諮問会議は、社外取締役主体の会議体とすることにより、これまで以上に監督的な視点を強め、またプロダクトガバナンスだけでなくフィデューシャリー・デューティーの取組状況のモニタリング等にまでテーマを拡げることで、お客さま本位の業務運営やプロダクトガバナンスに関する取り組みの更なる深化を進め、2025年度は計3回開催し、議論してきました。

- 2024年度では、2025年2月にFDをテーマに、2024年11月および2025年3月にPGをテーマにそれぞれ開催し、下記内容等について社外取締役に意見聴取を行い、今後更に注力していくべき事項や課題の確認などを行っています。
- 2025年度も引き続き、取組状況に係る議論を通じ、お客さま本位の業務運営の実現・高度化のための取り組みを進めて参ります。

会議体見直しの概形



本諮問会議で取り扱ったテーマ（抜粋）

【FD】利益相反管理について

「利益相反管理方針」を、お客さまにより分かりやすい内容とするための見直し方針など

【PG】ファンド提供価値の維持・向上について

提供価値の維持に向け、異常を早期に検知し対応する社内体制の整備・運営状況など

【PG】お客さま向け情報開示について

お客さまの投資判断の一助となること、当社運用体制に対する理解を深めていただくことを目的とした運用関連の開示情報拡大方針など

【PG】プロダクトガバナンスレポートについて

本レポートを、お客さまがより読みやすく・分かりやすい内容とするための見直し方針など（ファンドの一覧性・検索性向上の工夫など）

プロダクトガバナンスの取り組み プロダクトガバナンス態勢

- ・ 当社では運用・商品開発におけるファンドの各種運営とともに、ファンドの有効性・継続性に関する点検および品質管理・向上を自律的に行っております。
- ・ 一方で、独立した会議体（ファンド管理委員会）においてパフォーマンスおよびファンドの提供価値に関するモニタリングを行い、商品性要因あるいは運用要因に改善すべき課題を特定した要改善ファンドについては、より広範な関係者間で改善策を検討し、改善に向けた対応を実施しております。

バリューマネジメント活動の概形

お客様の信頼に応える商品提供

バリューマネジメント活動
(ファンド提供価値の維持・向上への取り組み)

運用・商品担当部署による
自律的な品質管理

運用状況のモニタリング・
商品性の確認

運用状況のモニタリング・
商品性の確認

バリューマネジメント統括部署が
指揮する組織的な品質管理

ファンド提供価値の評価

要改善ファンドの改善※・
フォローアップ

※ 改善策の立案・実行はバリューマネジメント統括部署からの指示に基づき、運用・商品担当部署が行います

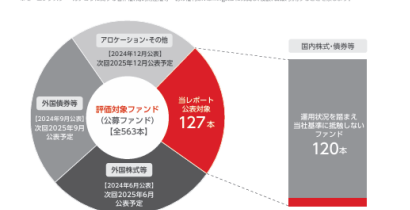
プロダクトガバナンスの取り組み プロダクトガバナンスレポート

- ・ 投資信託を活用いただくお客さまの目線に立ったサービスの提供・品質向上に向けて、2024年3月からプロダクトガバナンスレポートの発刊を開始しました。当社のプロダクトガバナンス態勢についてご説明することに加えて、当社が設定・運用する公募ファンドについて、プロダクトガバナンスの視点で、コストに見合うリターンをお客さまに提供できているか、商品性に合致した運用が継続可能かなどを定期的に検証し、個別ファンドごとに品質管理を行った結果をご報告するものです。



当レポートでご報告するファンドについて

当レポートでは評価対象ファンドを「国内株式・債券等」、「外国株式等」、「外国債券等」、「アロケーション・その他の4つに分類し、各分類ごとに順次公表いたします。今回は「国内株式・債券等」に分類する127本のファンドを対象とし、評価した結果、以下7本のファンドについて要改善ファンドに該当すると判断いたしました。分析結果や改善に関する取り組み状況については、モーニングスター・カテゴリー別に次ページからご説明いたします。



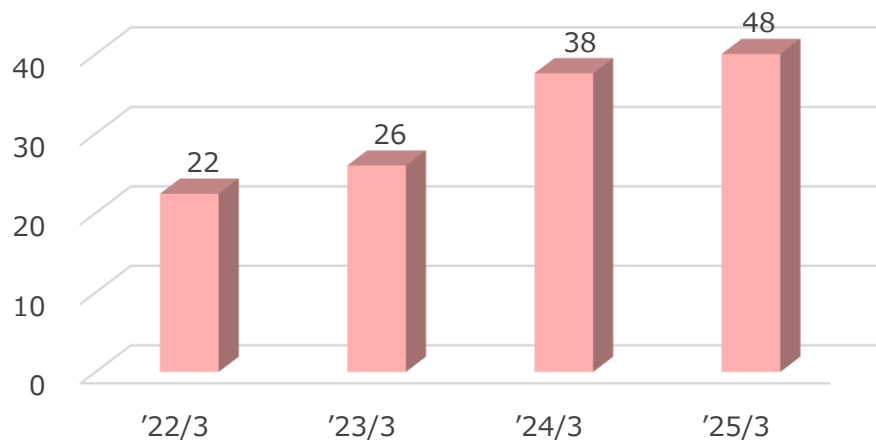
要改善ファンド7本		
ファンド名	設定日	掲載ページ
三菱UFJ J SRIファンド(運用: ファミリー・フレンドリー)	2004/12/03	13
三菱UFJ J システム・リターン・オープン(運用: プロフェッショナル)	2001/03/30	16
三菱UFJ J グローバル・インベステーション(運用: ニュートン)	2000/06/30	17
三菱UFJ J グローバル・インベステーション(運用: ニュートン)	2018/03/27	18
三菱UFJ J グローバル・インベステーション(運用: ニュートン)	2000/11/30	22
三菱UFJ J グローバル・インベステーション(運用: ニュートン)	2017/11/17	22
三菱UFJ J グローバル・インベステーション(運用: ニュートン)	2001/12/07	28

プロダクトガバナンスレポート

https://www.am.mufig.jp/corp/product_governance_report/

< K P I >

【図1】運用資産残高（兆円）



- 運用資産残高は、投資信託残高および投資顧問契約残高の合計です

ポイント

- 「貯蓄から投資へ」の流れの高まりによる資金純流入に加え、堅調な市場動向を受けた株式等の時価評価額の上昇により、当社の運用資産残高は2024年3月末比で約10.6兆円増加しています

<ご参考>

国内公募株式投信（除くETF）純資産総額

- 当社は、お客さまの多様化する資産運用ニーズに応えるため、経験豊富な運用プロフェッショナルによる自社運用に加えて、高い目利き力による外部運用も含めた商品を開発・提供しています。
- NISAの「つみたて投資枠」「成長投資枠」の両者の対象商品でもある「eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)」は、ネット取引をご利用のお客さまにご支持いただき、おかげさまで、国内公募株式投信（除くETF）において純資産総額 第1位となりました。

国内公募株式投信（除くETF）純資産総額上位5ファンド

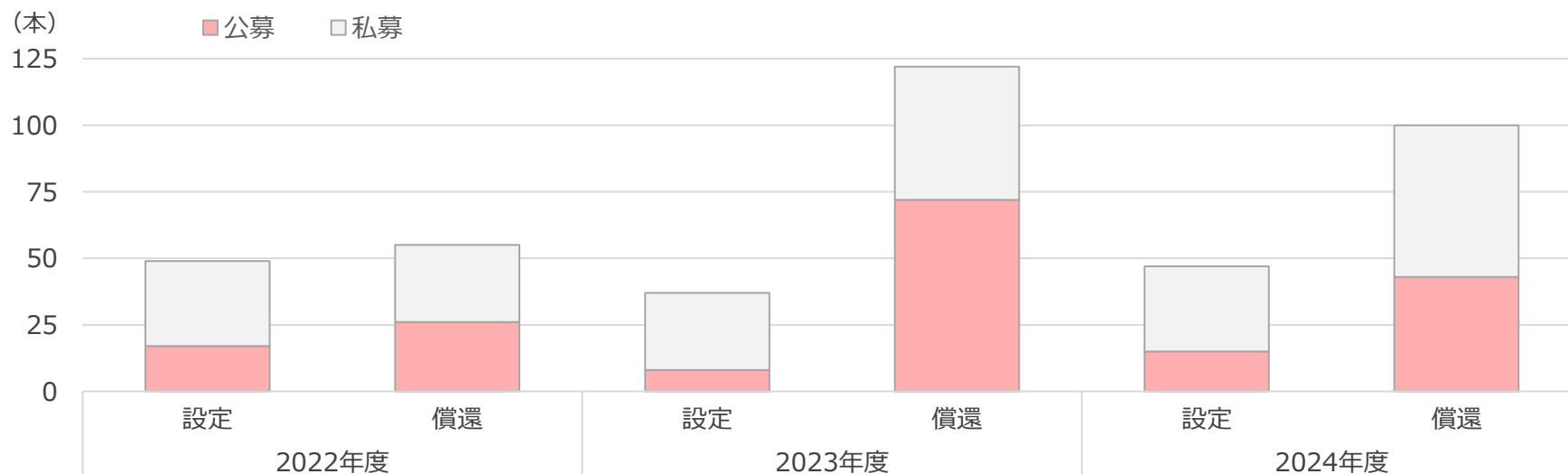
No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)
1	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJ アセットマネジメント	64,755
2	eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)	三菱UFJ アセットマネジメント	54,121
3	米国成長株投信Dコース毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アライアンス・ バーンスタイン	30,643
4	SBI・V・S&Pインデックス・ファンド	SBI アセットマネジメント	18,902
5	インベスコ 世界厳選株式オープン (為替ヘッジ無し) 毎月決算型	インベスコ・ アセット・マネジメント	18,243

(2025年3月末基準)

<ご参考>

【図2】2022～2024年度における新規設定・償還ファンド数

- ・お客さまのニーズに沿った商品を提供するとともに、様々な投資機会の提供を目指すべく、新商品の開発・設定を行っています。
- ・一方で、設定していた信託期間を満了し、お客さまへの提供における役割を果たしたファンドについては満期償還を実施しています。
- ・また、お約束していた提供価値の維持が残高の減少などにより困難と判断したファンド等については繰り上げ償還対応を行う等、ファンド毎の品質維持・向上を目的とした取り組みを行っています。



※ 親投信（マザーファンド）および外国籍投信を除く

情報提供への取り組み

投資家に向けた分かりやすい情報開示

- ・ 当社では、商品開発・運用・情報提供等において、お客さまアンケートや外部評価機関から得られた評価結果を基に、お客さまの評価向上に繋がる活動を進めているほか、お客さまに対する情報発信等の強化に努めています。
- ・ また、金融機関として金融関連のセミナー等の開催にとどまらず、お客さまと直接対話をする機会の創設や、市場が不安定な時に適時適切なメッセージなどを発信し、お客さまが安心して長期間にわたって資産形成を行っていただけるよう、引き続きさまざまな情報をご提供してまいります。
 - － Youtubeチャンネル『[三菱UFJアセットマネジメント ON AIR \(投信オンエア\)](#)』を通じて、資産運用や積立投資等の魅力といった運用会社独自の情報をタイムリーに発信する他、[投資環境等に関する定期的なレポートの配信](#)などを通じた情報提供に努めています。
 - － お客さまの商品選定・比較の参考となるよう、販売会社を通じて「重要情報シート」を提供しています。商品毎に、運用方針等の基本的情報や運用会社として想定している顧客属性を明示し、投資目的に沿った商品選定をサポートできるよう情報提供に努めています。

投資家との交流の機会の創出

- ・ 当社は2009年頃から継続して、投資家と直接対話をする機会を創出しています。
- ・ 資産運用会社として直接投資家の声を聞くことにより、いただいたご意見を商品開発や月報などの開示物に反映させることで、投資家目線の商品・サービスの提供に繋げています。

ブロッガーミーティング

- － 年3回程度、リアルとオンラインのハイブリッド参加方式で開催
- － 投資家を中心として毎回100名程度が参加
- － 投資信託の話に限らず、その時々
の時勢に応じたトピックスなどを資産運用のプロが解説



eMAXIS ファンミーティング

- － リアルとオンラインのハイブリッド参加方式で年1回開催
- － ベテランの投資家だけでなく、投資を始めたばかりの方や投資未経験者まで幅広い層の方が参加
- － 投資を始めたばかりの方でも参加しやすいよう、提供するプログラムは初心者向けの内容で構成し、投資を身近に感じていただけるよう工夫



情報提供への取り組み

運用体制に関する情報開示の強化

- 当社はこれまでホームページ内の個別ファンドページにて、運用担当部や運用主担当者・責任者名に関する開示を行ってきましたが、2024年12月に、当社の運用体制をお客さまに対してより分かりやすくお伝えすることを目的に、各運用部および運用チームに関する開示を拡充しました。

1. 運用部紹介

各運用部が担当する資産クラスや運用戦略、運用体制(運用者数/平均運用経験年数)、責任者である部長の経歴について紹介しています。

2. 運用チーム紹介

運用部配下に運用チームを組織している場合には、運用チームの責任者(チームリーダー)の経歴や、運用において大切にしていること、担当している代表ファンドについて紹介しています。

株式運用部

2024年10月1日現在

株式運用部は、内外株式のアクティブ運用を担当しています。アクティブ運用とは、TOPIXやS&P500といった目安となる指数(ベンチマーク)を上回る成績(超過収益)を目指す運用スタイルのことです。我々は、他の市場参加者よりも積極的に優れた情報収集力と分析力をもち、困難な局面においても冷静かつ的確な判断を下すことで超過収益の獲得が可能であると信じています。

運用にあたっては、投資基準ごとにチームを構成しており、各チームは長期で魅力的なリターンを提供するという目標のために、情熱と不断の努力をもって運用を行っています。

部署概要

運用者数 **45人**

平均運用経験年数 **18年**

部長紹介

部長紹介

プロフィール

1991年に日経生命保険会社に入社し、国内株式及び株式運用、米国株式運用を担当。2008年に当社の前身の国際投資信託株式会社に入社し、アジア株式及び株式運用を担当。その後、香港現任社長を経て、2023年に株式運用部長に就任。

運用経験年数：28年

チームリーダー紹介

写真をクリックすると担当者の詳細が表示されます

日本橋グローバル戦略 (チーム小島)

日本橋コアバリュー戦略 (チーム長岡)

日本橋イノベーション戦略 (チーム長岡)

海外グローバル戦略 (チーム西)

※ 運用者数、平均運用経験年数、運用経験年数(2023年10月1日現在)

情報提供への取り組み

当社が考える各商品の購入を想定するお客さま

- 2025年3月、ホームページへ、当社が考える各商品の購入を想定するお客さまに関する情報の掲載を開始しました
- 商品に、商品理解の難易度などに基づいたランクを付与し、その商品の購入を想定するお客さまを、投資経験や投資知識の観点から4つに分けてご案内しており、これにより、お客さまの商品選びのお手伝いができるものと考えています。
- なお、当社が主に、投資経験および投資知識が十分にあるお客さまの購入を想定している、商品リスクのランクが高いと考える商品については、対象商品のリストを併せて掲載し、ご判断の参考となるようにしています。

当社が考える、各商品の購入を想定するお客さまについて

商品を購入する三菱UFJアセットマネジメントでは、商品理解の難易度などに基づいて分類した商品リスクランク(詳細は別紙)に応じて、その商品の購入を想定するお客さまを、投資経験や投資知識の観点から4つに分けてご案内しております。

具体的には、「A. 投資経験がない方」「B. 投資経験がないが投資知識が十分にある方」「C. 投資経験がある方。または投資知識が十分ある方」「D. 投資経験および投資知識が十分にある方」の4つに分けています。

※ 経験年数とは積み重ねた投資経験によるものと考えています。

下記のとおり、各商品リスクランクの観点から当社はお客さまを、当社がそのお客さまに想定する、商品リスクランク(対象資産と運用コースが異なるもの)などの商品理解の観点から、商品リスクランク「3」として扱います。

ご参考：商品リスクランクについて

商品リスクランクは当社が価格変動リスクおよび商品理解の難易度から判定しております。各商品リスクランクのイメージは以下の通りです。

当社が考える、各商品の購入を想定するお客さま

商品リスクランク

1 2 3

A B C D

投資経験や投資知識による区分

※ 赤線は、リスクランク「3」のファンドが想定するお客さまの境目を表しています。

商品リスクランク「1」

値動きが限定的で、かつ、投資家が新聞(一紙紙)を読むことなどにより、補足説明がなくても商品性が概ね理解できると考えるファンド。主に、国内債券、先進国債券(為替ヘッジ付き)などを投資対象とするファンドです。

商品リスクランク「2」

値動きが一般的にリスク資産(株、為替)と同程度で、自己の知識と、資料等の補足情報を得ることで商品性が理解できると考えるファンド。商品リスクランク「1」または「3」以外の商品になります。

商品リスクランク「3」

値動きが相対的に高いと判断され、販売員からの補足説明を得ることにより商品性が理解できると考えるファンド。主に通貨選択型(対象資産と運用コースが異なるもの)や、レバレッジ取引(先物取引等)を利用し投資金額の数倍の取引を行うことを行うファンドなどが該当します。

当社が主に、投資経験および投資知識が十分にあるお客さま(区分D)の購入を想定している、商品リスクランク「3」の主なファンドは以下の通りです。

投資経験または投資知識が十分ではないとお考えのお客さまは、ご購入の際は、慎重なご判断が必要(ご購入に遠慮の可能性)とさせていただきます。

三菱UFJアセットマネジメントの運用体制

https://www.am.mufig.jp/investment_policy/organization/

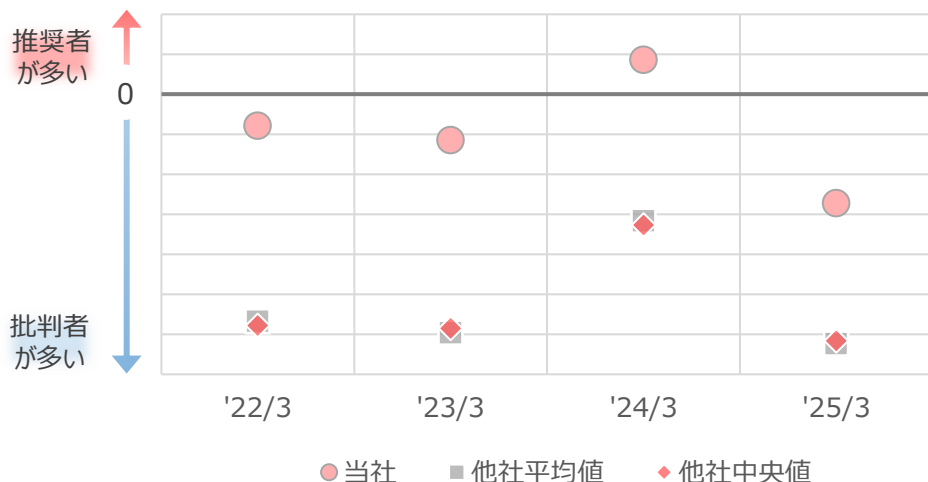
各商品の購入を想定するお客さまに関する情報

<https://www.am.mufig.jp/corp/policy/matrix.html>

<KPI>

【図3】NPS ～顧客推奨度の評価～

商品に関する顧客推奨度 ～当社NPSと他社NPSの平均値・中央値～



ポイント

- 推奨者と批判者の差分を測定するNPS調査では、一般的には、推奨者が批判者を上回っている状態を示す「0」以上の評価が得られる業種は多くありません。
- その中で、当社NPSは相対的に高い評価を得ており、他社平均値比でも高い結果を得ています。
- 今後も当社の投資信託にご満足いただけるよう、パフォーマンスや情報提供の向上に努めてまいります。

※ 追加型株式投信（除くETF）残高上位9社のファンドを保有する受益者（2,511名）を対象に、調査会社株式会社マクロミルに委託しインターネット調査を行っています。
 ※ 全国20～79歳の男女、対象運用会社の投信を3年以内に購入した投資家を対象に調査しています。
 ※ 当社を除く公募株式投信（除くETF）の残高上位8社（2025年1月末基準）の平均値を「他社平均値」、中央値を「他社中央値」として記載しています。
 ※ NPS®は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、NICE Systems, Inc.の登録商標又はサービスマークです。

- NPS（Net Promoter Score）とは、下記の簡単な質問から顧客ロイヤリティを図る調査方法です。



0～10点で表すとして、〇〇（評価対象）を友人や同僚に薦める可能性は どのくらいありますか？

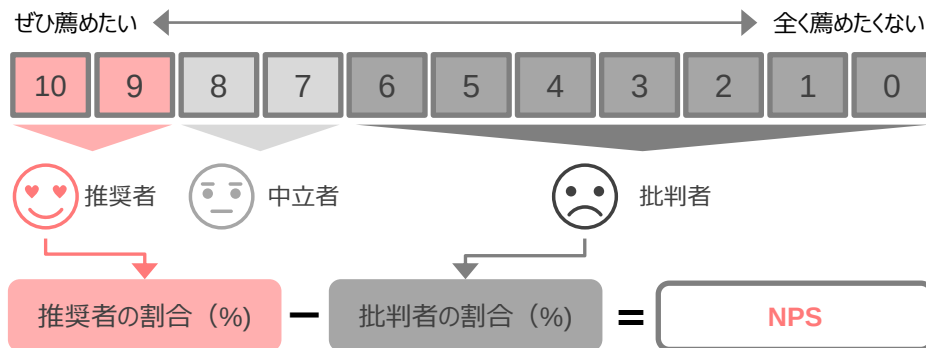
- この質問において、10-9点と評価した割合（推奨者）から6-0点と評価した割合（批判者）を引いた値がNPSとなります。
- 本調査では当社を含む運用会社各社の投資信託をお持ちのお客さまに対して、



〇〇（運用会社名）の商品について、あなたは友人や知人にどの程度薦めますか。ぜひ薦めたい：10点、全く薦めたくない：0点として、11段階から選択してください。

...と質問し、各社のNPSを調査しました。

NPSの測定手法 イメージ



例①：〔推奨者の割合：25%〕－〔批判者の割合：15%〕＝ NPS：+10

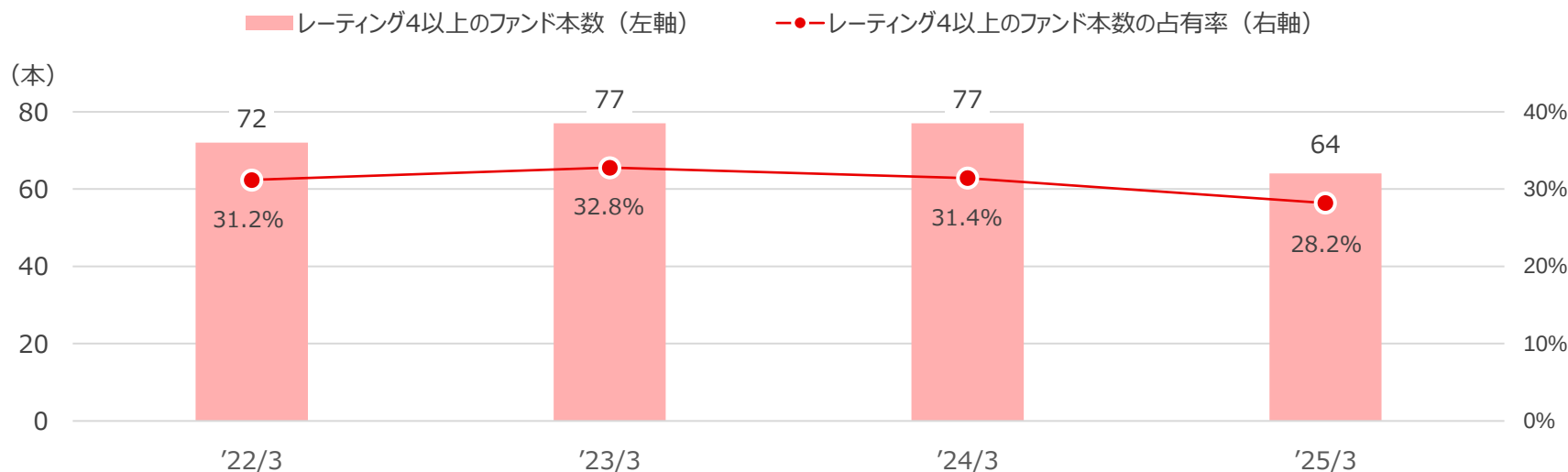
例②：〔推奨者の割合：15%〕－〔批判者の割合：20%〕＝ NPS：－5

<KPI>

【図4】レーティング4以上のファンド本数／占有率

- お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化を通じ、お客さまへの最良の投資成果の提供をめざし、日々運用に取り組んでいます。
- 運用力の結果を表す指標として、株式会社野村総合研究所が公表している「Fundmark投信評価レポート」において、当社の投資信託に付与されているFundmarkレーティング（以下「レーティング」）による評価を使用しています。なお評価期間は3年のものを使用しています。
- 所定要件に該当するファンドを、特性の近い分類の中で比較し、5段階で評価（レーティング）されますが、レーティング4以上であれば同分類の中で上位33%に入っていることを意味しており、該当するファンド本数と占有率をKPIとしてお示しします。

※ Fundmarkレーティングについては、巻末ディスクレーマー参照



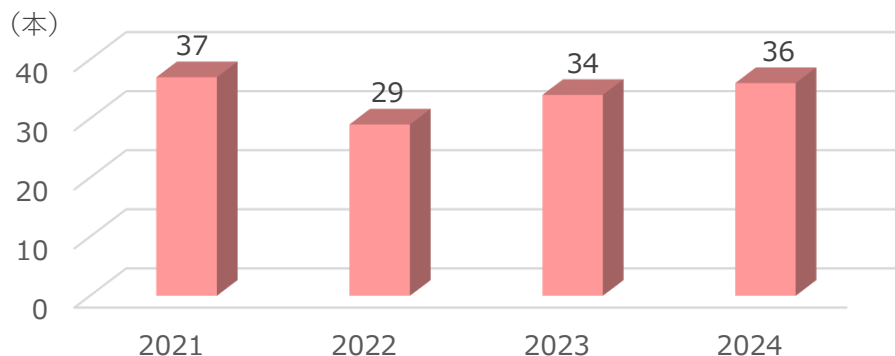
ポイント

- レーティング4以上のファンド本数および全体に占める占有率は、足下では低下していますが、平均的なパフォーマンスを上回る付加価値のある運用をご提供するべく、引き続き運用の高度化に努めてまいります。

<KPI>

【図5】ファンドアワード受賞本数（本）

- 当社が提供する商品の運用力を示す一つの指標として、定量・定性評価で優れたファンドに送られる各種ファンドアワードの受賞本数の合計をお示しています。
- ファンドアワードは、下記4種のアワードを対象に集計しております。
 - 「R&Iファンド大賞」
 - 「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン」
 - 「モーニングスター・アワード」
 - 「個人投資家が選ぶ！ Fund of the Year」
- 良好な運用成果を上げ、定量面で評価されたファンドの他、有識者や個人投資家による投票で定性面が評価されたファンドなど、アクティブファンド、インデックスファンドを問わず、多くのファンドで評価をいただいています。



ポイント

- 2024年度は「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン」にて、最優秀ファンドの受賞数が最多であったことを受け、最優秀ファンド獲得賞を受賞しました。受賞ファンドにおいて、その運用力・商品力を高く評価いただいています。

<ご参考>

「次世代米国代表株ファンド〈愛称：メジャー・リーダー〉」

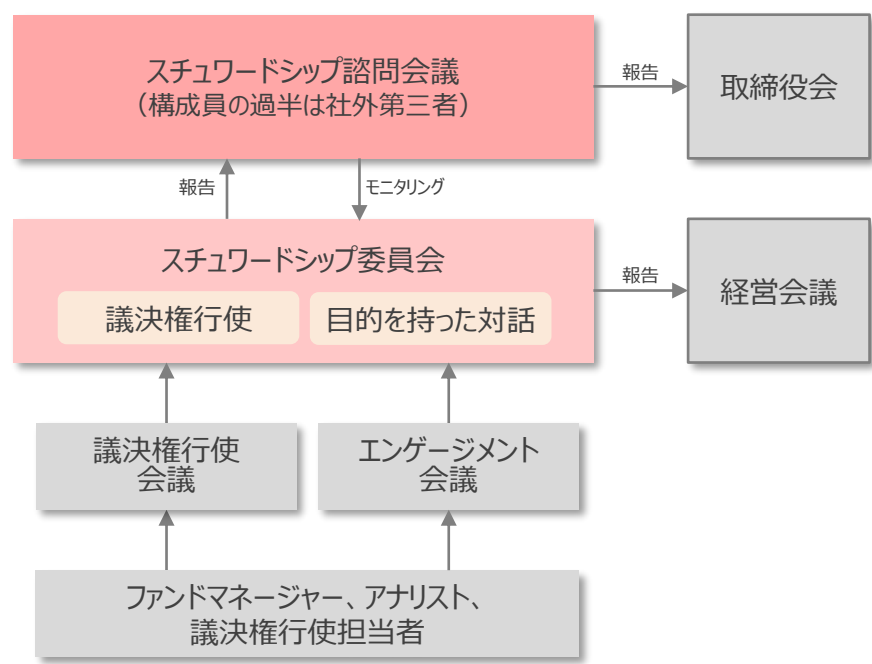
- 「次世代米国代表株ファンド〈愛称：メジャー・リーダー〉」は、良好なパフォーマンスが評価され、“R&Iファンド大賞 2025”にて過去10年のパフォーマンスを評価する「北米株式コア」部門の最優秀ファンド賞を、前年に続き2年連続で受賞いたしました。
- 当ファンド（2013年5月設定）は、主として米国において取引される、持続的に成長が見込まれる、次世代の米国経済の主役となり得ると判断した企業への厳選投資を通じて、値上がり益の獲得をめざします。
- 運用を担当しているチームでは、持続的に成長が期待される企業を発掘し、直接取材などの徹底した調査・チームでの議論を通じた銘柄選択を行います。
- 短期的な業績のブレや市況の変動に振られることなく、企業の業績が時間をかけて株価に反映されていく局面を捉える運用を実践しています。
- なお、当ファンドはNISA（少額投資非課税制度）における「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ファンドです。



運用者としての取り組み
スチュワードシップ活動

- スチュワードシップ活動の一環として、投資先企業との対話(エンゲージメント)に継続的に努めており、スチュワードシップ活動報告（年次）および議決権の行使結果（四半期）を[ホームページ](#)にて公表しています。
- 当社は、お客さまから委託された資産の運用を行う立場として、投資先企業が株主利益を考慮して企業価値の向上や持続的な成長を果たすことに資するため、企業との「目的を持った対話」や明確な方針のもとでの議決権行使などのスチュワードシップ活動を実施しています。
- 当社は、責任ある機関投資家として適切に受託者責任を果たすため、「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》の受入を既に表明していますが、より一層のガバナンス強化を目的として、「スチュワードシップ諮問会議」を設置しています。
 - ✓ 本諮問会議では、お客さまから委託された資産の運用における議決権行使や投資先企業との「目的を持った対話」および投資行動が、投資家の利益最大化を確保するために十分かつ適切であることを検証しています。独立性・中立性を確保するため、取締役会が指名する議長を含めたメンバーで構成し、構成員の過半を社外第三者から選任しています。
 - ✓ 本諮問会議による検証結果は取締役会へ報告しています。

スチュワードシップ活動のガバナンス体制



委員会・会議体の構成

	役割・目的	委員長・議長	構成メンバー
スチュワードシップ諮問会議	スチュワードシップ活動に係る方針・ガイドライン等の適切性・遵守状況および活動状況の審議	社外取締役	社外取締役、社外有識者、法務・コンプライアンス部所管役員
スチュワードシップ委員会	スチュワードシップ活動に係る方針・ガイドラインの制定・改廃、活動状況の報告と審議	運用部門所管役員	運用部門所管役員、運用部門執行役員、法務・コンプライアンス部所管役員、運用企画部長、サステナブル投資推進部長、運用各部長、法務・コンプライアンス部長

運用者としての取り組み 利益相反管理

- 当社は、利益相反管理方針を定め、役職員一同がこれを遵守することによって、お客さまの利益を不当に害することがないよう、また、MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針に基づき、お客さま本位の業務運営を実現することができるよう、万全を尽くしています。
- 特に、当社は異なるビジネスを営む複数の企業から構成されるMUFGに属し、様々な利益相反が発生するリスクがあることを踏まえ、常に全役職員が利益相反によるお客さまへの不利益が生じることを回避し、顧客保護を図ります。

当社HP利益相反管理方針

利益相反管理方針

三菱UFJアセットマネジメント株式会社（以下、「当社」と言います。）は、利益相反管理方針を定め、お客さまのために行う取引について、お客さまの利益と当社を含むMUFGグループ（以下、「当グループ」と言います。）企業各社の利益、又はお客さま同士の利益が競合・対立することなどにより、お客さまの利益を不当に害することがないよう、利益相反の弊害防止に取り組みます。また、当社は、MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針に基づき、お客さま本位の業務運営を実現することによって、お客さまの利益を不当に害することがないよう、万全を尽くしています。なお、当社の考え、公正・透明な企業活動を誠実に実施しています。なお、当社の定

第二章 当社が属するMUFGグループの主な利益相反管理対象会社等

第一章 当社における利益相反管理

1 基本的な考え方

当社は投資運用業や投資助言業、第二種金融商品取引業を行う金融商品販売会社として、お客さま本位の業務運営を行うことが使命である。利益相反を特定し、排除できる態勢を構築し利益相反の防止に努めるとともに、特に、当グループは異なるビジネスを営む複数の企業から構成され、当社は、常に、全役職員が利益相反によるお客さまへの害を回避し、顧客保護を図ります。

2 利益相反のおそれのある取引等の類型

(1) 管理が必要な利益相反のおそれのある業務等

1 利益相反管理の対象となる会社の範囲

MUFGではMUFGに属する管理対象業務を行う会社を利益相反管理の対象とする会社とし、管理体制を整備しております。当社以外の対象となる会社の代表例は、以下のとおりです。

株式会社三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 三菱UFJ eスマート証券株式会社

2 MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針に基づく利益相反管理

MUFGでは、MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針の「4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備」及び「5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化」に基づき、以下の点等に留意しつつ、利益相反を適切に管理しております。

- ① お客さまの資産形成に資する商品選定および販売手続き等の整備
- ② 運用業務における独立性・透明性の確保

上述のMUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針に基づく取組みを実施する会社の代表例は、以下のとおりです。

株式会社三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 三菱UFJ eスマート証券株式会社 三菱UFJアセットマネジメント株式会社 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 三菱UFJ不動産投資顧問株式会社

利益相反管理方針

<https://www.am.mufg.jp/corp/policy/riekisouhan.html>

プロフェッショナリズムの発揮に向けた取り組み 人材育成

- 証券アナリスト等、資産運用業務に関連する資格取得を通じた専門性の維持に努めております。
- 社員の専門性向上に向け、証券アナリストを含む資格取得支援制度や、海外関連会社への出向およびトレーニーとしての派遣を通じた運用関連スキルの育成を促しています。
- 社員一人ひとりの多様性を活かし、能力・専門性・貢献度に応じた適正かつ柔軟な処遇をめざし、新人事制度を2023年4月より導入しています。
 - ✓ 運用会社として、「お客さまの資産形成・資産運用に貢献する」、「持続可能な社会の実現に貢献する」ためにも、経営資本である、「人」の力を高めることが最も重要であると考えています。
 - ✓ 能力発揮・貢献度に応じた処遇を徹底することにより、「多様な社員が高い専門性を発揮できる」会社として一層の変革を遂げていくとともに、運用人材を含む社員それぞれのプロフェッショナル度を高め、お客さまに提供する価値の最大化を引き続き目指しています。
- アクティブファンドの運用に従事するファンドマネジャーの人事・報酬制度（以下、AFM制度）を2025年4月に改定しました。
 - ✓ AFM制度では、運用成績と賞与の連動性を高めることに加え、ファンドマネジャーの報酬の一部を、自身が運用するファンドの運用成績と連動させることで、投資家のみなさまと利益の共有を行い、これまで以上に投資家目線の運用に努めてまいります。
 - ✓ また、日系同業他社との比較でもトップクラスとなる報酬水準を実現し、運用人材の育成・確保にも注力いたします。

資産形成のサポートに向けた取り組み 直接販売サービス

- 当社は、資産運用を取り巻く環境変化に備えるとともに、投資家のみなさまと直接つながりを持つことを目的とし、初めて投資する方や投資経験の少ない方にも、投資を身近に感じていただけるよう2019年3月にインターネットの直販サービスである“mattoco（マットコ）”を開始・提供してまいりました。
- 2024年10月、“mattoco”をリニューアルし、株式会社スマートプラスとともに、新しい投資信託の直販サービス“[mattoco+（マットコプラス）](#)”を開始いたしました。“mattoco+”においても、本サービスをご利用いただく投資家の皆さまの資産形成を見据え、厳選したファンドラインナップの提供や、運用会社ならではのセミナーやコンテンツ等の情報提供により、「投資信託を通じて、お客さまの将来のための長期資産形成をサポートする」という“mattoco”のコンセプトを継続しています。
- 2025年3月末時点で、“mattoco+”では41本の商品を提供しており、“mattoco+”でしか購入いただけないオリジナルファンドとして「[これぞ、日本株](#)」、「[百戦錬磨の名人ファンド](#)」をご提供しております。その他、目的実現のためにお客さまが投資のプランを考える際の参考情報として、入力した前提に基づいたシミュレーションをご提示する支援ツールや、ファンドにまつわるトピックや運用会社を身近に感じていただける情報をお届けする「[投資を知る・学ぶ](#)」など投資がより身近なものになっていただけるようコンテンツを提供しております。
- 加えて、株式会社スマートプラスのプラットフォームを活用し、これまで投資家の皆さまからのご要望が多かった機能等の拡充を図り、シンプルで、始めやすく、続けやすい資産運用サービスをめざしてまいります。

【新たに追加・改善した主な機能】

- 保有資産の内訳と推移グラフの表示
...投資額および資産総額の推移をグラフで確認可能
- 資産の取り崩しサービスの追加
...定時定額解約の機能を追加
- 操作性の改善による使いやすさの向上
...つみたての状況や NISA の利用状況を画面遷移なく把握可能
- 入金手続きのリアルタイム反映
...振込手続き後、mattoco+専用口座へリアルタイムに入金が反映され取引可能
※一部金融機関は除きます
- サービス利用停止時間の変更
...午後 3 時～6 時までのシステムメンテナンスを原則午前 3～5 時に変更

サービスのポイント

- 資産形成に向けた厳選ラインナップ**
eMAXIS Slim
...NISAで完結可能なeMAXIS Slimをはじめ、最新の資産形成に適したファンドを取り揃えています。
- 資産形成をサポート**
三井住友VISAカードが資産形成を全力サポート
...三井住友VISAカードが資産形成をサポートするサービスを提供しています。
- 資産形成を投資信託でシンプルに**
...運用信託のファンドを簡単に購入・売却・解約が可能です。

これからの日本株が面白い!

企業の変化を捉えるには、経験を買え!!

内田 賢一

KOREZO NIHON-KABU

「経験も新しいが、投資経験中の最下からも選ばれる」という人への投資信託はないものと“mattoco+”の投資家が豊富な投資経験の中から運用実績・リスク水準から厳選した上位の日本株ファンドを厳選。

「強力な買い戦略を買い、強力な買い戦略を売る」

市場で積み上げた、約20年の経験には運用者のプライドとこだわりが詰まっています。全銘柄等のアノミに即座に反応したこの戦略を個人の投資運用に活かせるん! 今の投資信託が、**百戦錬磨の名人ファンド**です。

*日本株マルチファンクター戦略とは、動向や成長性等複数のファクターを適用した個別銘柄の期待リターンを測定する戦略を指します。詳細は特設ページの「投資信託の期待リターンを測定」をご覧ください。

投資信託の比較可能な共通 K P I

取組方針

取組状況

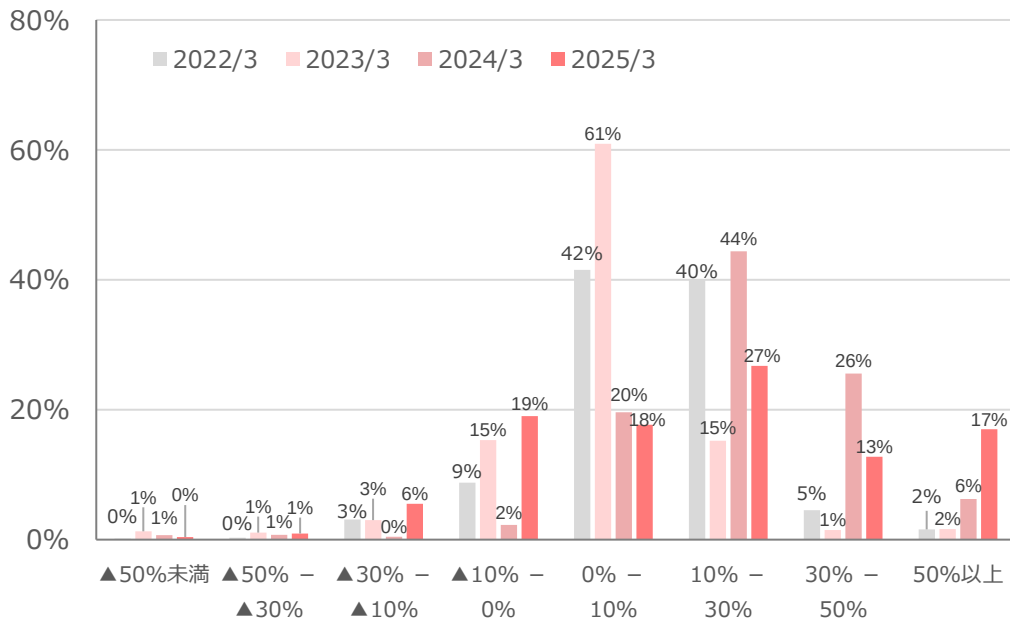
投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

- 2018年6月に金融から公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」（以下、共通KPI）を踏まえ、当社が提供する直販サービス「mattoco+」の実績を公表致します。
- お示している共通KPIの定義・算出方法の詳細は、金融庁ホームページにてご確認ください。（以下、金融庁への外部リンクとなります）
 - ✓ [金融庁による投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについての発表](#)
 - ✓ [投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIの定義](#)
- 当社直販サービス「mattoco+」における、過去4年（2022年／2023年／2024年／2025年3月末時点）の運用損益をお示しております。

<共通KPI>

【図6】投資信託運用損益別顧客比率 当社直販サービス「mattoco+」

投資信託の運用損益別顧客比率



- 金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」として毎年3月末時点の指標を、2022年より公表しております。
- 当社の直販サービス「mattoco+」で投資信託をご購入いただいたお客さまの2021年度以降の運用損益状況をお示しております。

ポイント

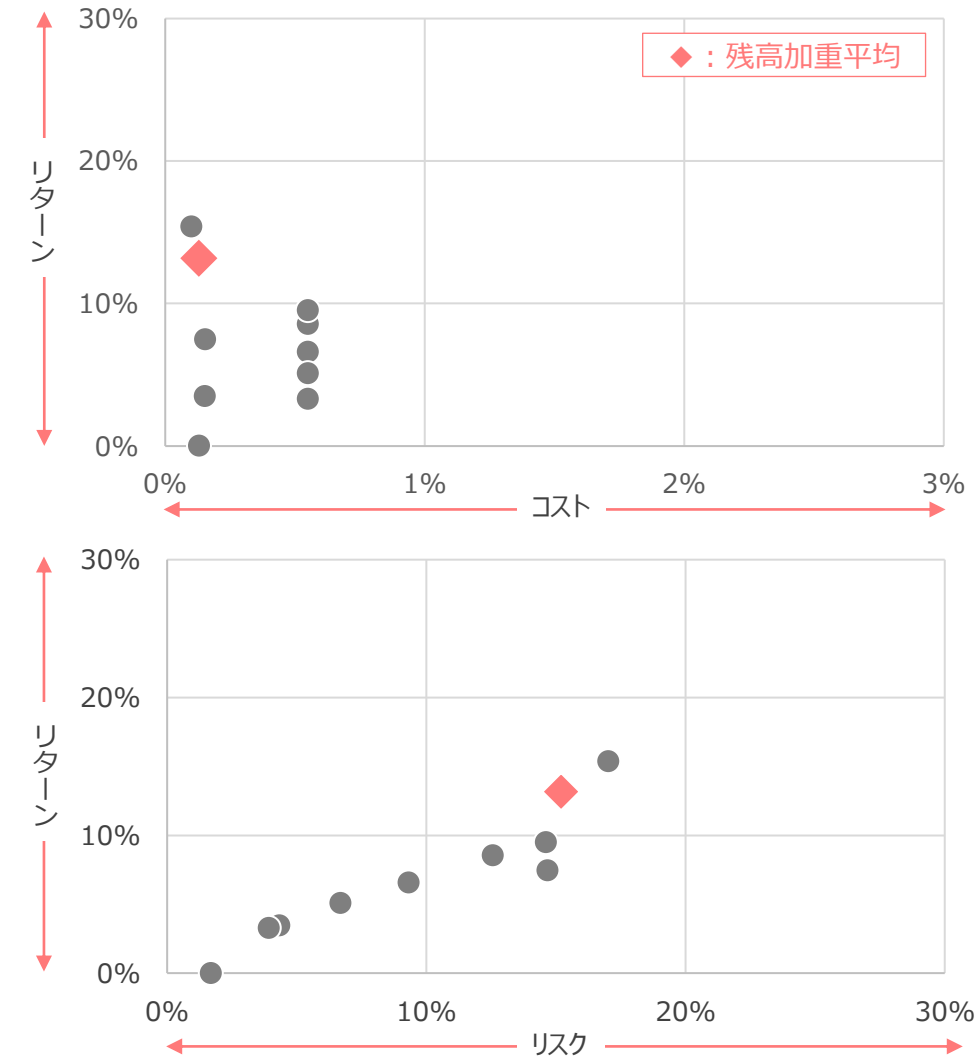
- 2025年3月末時点において、運用益が出ているお客さまの比率は74%でした。
- mattoco+では、積立投資をご利用されているお客さまも多く、短期的なマーケットの変動に大きく影響されていないことが、要因の一つと考えられます。

投資信託の比較可能な共通 K P I

取組方針 | 取組状況 | 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

<共通KPI> 【図7】投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2022年3月）

当社直販サービス「mattoco+」



銘柄名		コスト	リスク	リターン
1	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	0.10%	17.02%	15.38%
2	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	0.15%	4.34%	3.48%
3	eMAXIS Slim 国内株式（T O P I X）	0.15%	14.68%	7.46%
4	eMAXIS Slim 国内債券インデックス	0.13%	1.69%	-0.00%
5	eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	0.55%	12.57%	8.55%
6	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55%	9.32%	6.58%
7	eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	0.55%	14.61%	9.51%
8	eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	0.55%	6.69%	5.08%
9	eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	0.55%	3.93%	3.29%
残高加重平均（◆）		0.13%	15.20%	13.17%

投資信託の比較可能な共通 K P I

取組方針

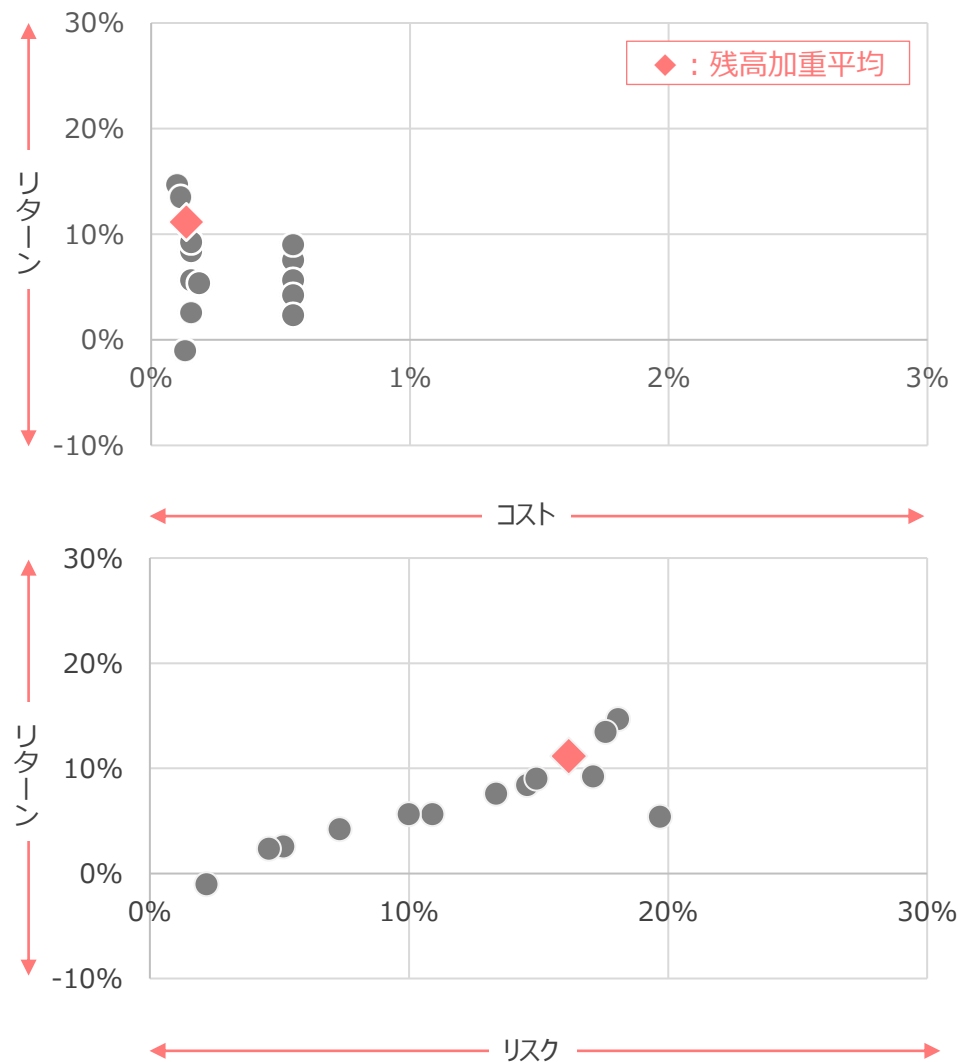
取組状況

投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

<共通KPI>

【図8】投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2023年3月）

当社直販サービス「mattoco+」

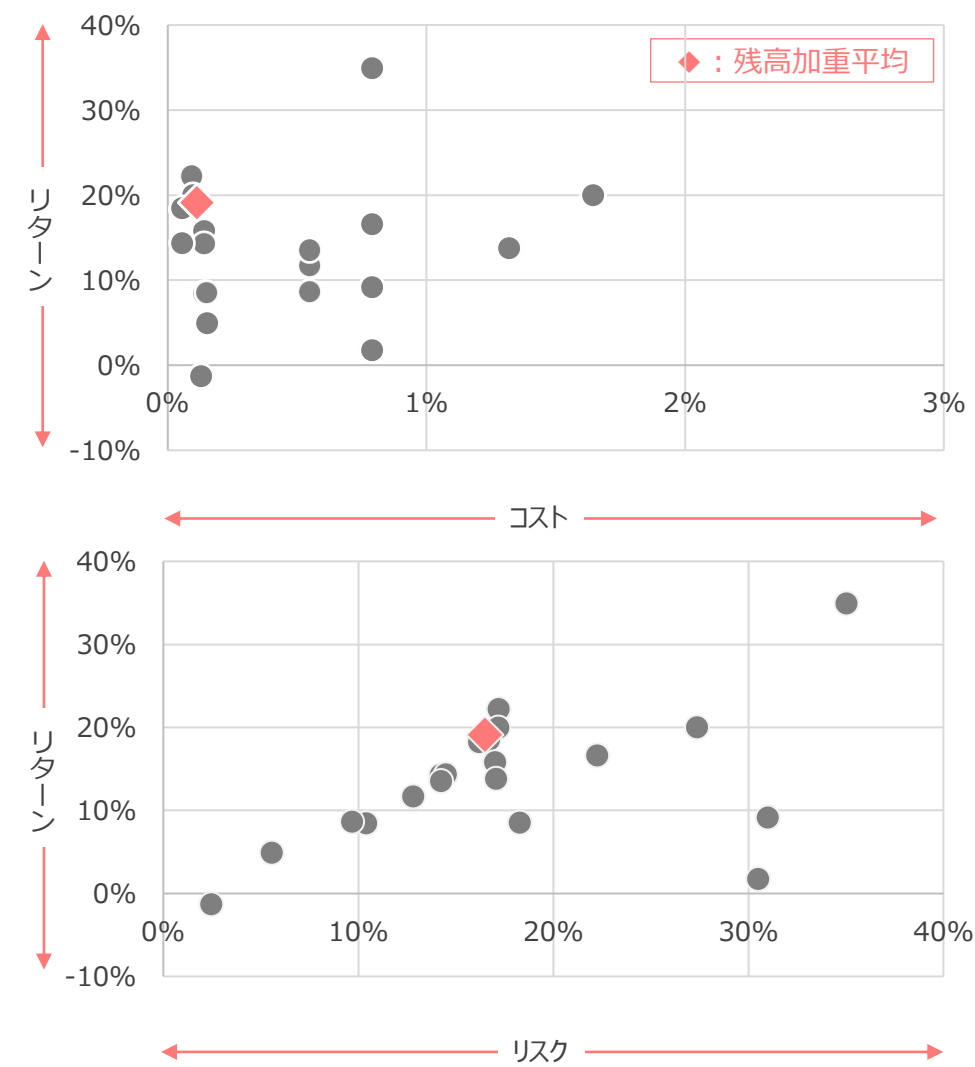


	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	0.10%	18.07%	14.68%
2	eMAXIS Slim 全世界株式 (除く日本)	0.11%	17.58%	13.44%
3	eMAXIS Slim バランス (8 資産均等型)	0.15%	10.90%	5.61%
4	eMAXIS Slim 国内株式 (日経平均)	0.15%	17.10%	9.21%
5	eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	0.19%	19.68%	5.37%
6	eMAXIS Slim 国内株式 (T O P I X)	0.15%	14.57%	8.39%
7	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	0.15%	5.16%	2.54%
8	eMAXIS Slim 国内債券インデックス	0.13%	2.19%	-1.06%
9	eMAXIS 最適化バランス (マイストライカー)	0.55%	14.92%	9.01%
10	eMAXIS 最適化バランス (マイフワード)	0.55%	13.37%	7.56%
11	eMAXIS 最適化バランス (マイミッドフィルダー)	0.55%	10.00%	5.62%
12	eMAXIS 最適化バランス (マイディフェンダー)	0.55%	7.33%	4.18%
13	eMAXIS 最適化バランス (マイゴールキーパー)	0.55%	4.59%	2.34%
	残高加重平均 (◆)	0.14%	16.17%	11.15%

投資信託の比較可能な共通 K P I

取組方針 | 取組状況 | 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

<共通KPI>
【図9】投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2024年3月） 当社直販サービス「mattoco+」



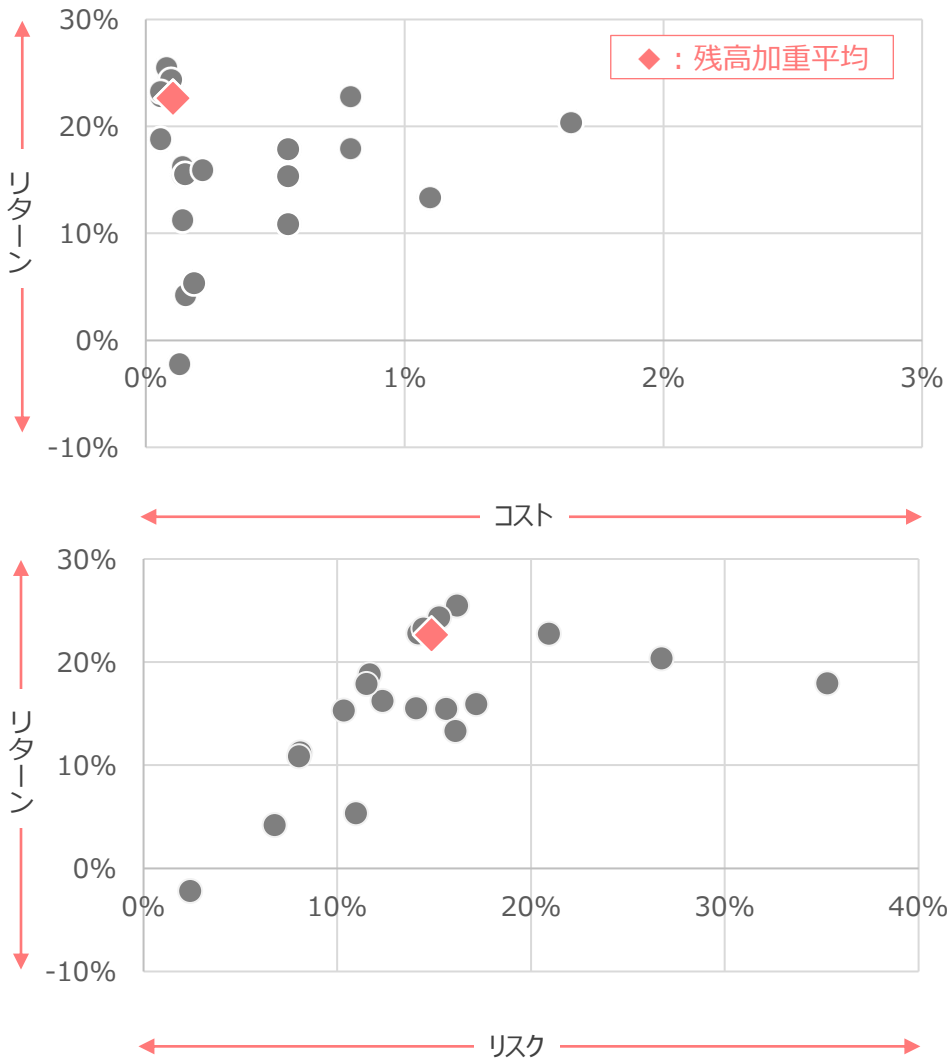
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	0.09%	17.19%	22.19%
2	eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）	0.06%	16.18%	18.23%
3	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	0.10%	17.17%	19.95%
4	eMAXIS Slim 全世界株式（除く日本）	0.06%	16.70%	18.49%
5	eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	0.14%	10.40%	8.46%
6	eMAXIS Slim 国内株式（日経平均）	0.14%	17.02%	15.81%
7	eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	0.15%	18.28%	8.53%
8	eMAXIS Slim 国内株式（TOPIX）	0.14%	14.22%	14.27%
9	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	0.15%	5.57%	4.89%
10	eMAXIS Slim 全世界株式（3地域均等型）	0.06%	14.49%	14.33%
11	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	1.64%	27.37%	19.98%
12	これぞ、日本株	1.32%	17.05%	13.78%
13	eMAXIS Slim 国内債券インデックス	0.13%	2.46%	-1.31%
14	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55%	9.68%	8.62%
15	eMAXIS 最適化バランス（マイフワード）	0.55%	12.81%	11.66%
16	eMAXIS Neo バーチャルリアリティ	0.79%	35.02%	34.94%
17	eMAXIS Neo 宇宙開発	0.79%	22.25%	16.61%
18	eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	0.55%	14.24%	13.53%
19	eMAXIS Neo 遺伝子工学	0.79%	30.50%	1.74%
20	eMAXIS Neo ナノテクノロジー	0.79%	30.98%	9.14%
	残高加重平均（◆）	0.11%	16.50%	19.11%

投資信託の比較可能な共通 K P I

取組方針 | 取組状況 | 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

＜共通KPI＞

【図10】投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2025年3月） 当社直販サービス「mattoco+」



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	0.08%	16.20%	25.47%
2	eMAXIS Slim全世界株式（オール・カントリー）	0.06%	14.19%	22.77%
3	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	0.10%	15.26%	24.33%
4	eMAXIS Slim 全世界株式（除く日本）	0.06%	14.46%	23.23%
5	eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	0.14%	8.10%	11.22%
6	eMAXIS Slim 国内株式（日経平均）	0.14%	15.63%	15.44%
7	eMAXIS Slim 国内株式（TOPIX）	0.14%	12.34%	16.21%
8	eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	0.15%	14.07%	15.49%
9	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	0.15%	6.77%	4.17%
10	eMAXIS Slim 先進国リートインデックス	0.22%	17.18%	15.92%
11	eMAXIS Slim 国内リートインデックス	0.19%	10.97%	5.32%
12	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	1.64%	26.74%	20.35%
13	eMAXIS Slim 全世界株式（3地域均等型）	0.06%	11.69%	18.79%
14	eMAXIS Neo 宇宙開発	0.79%	20.93%	22.75%
15	eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	0.55%	11.52%	17.86%
16	これぞ、日本株	1.10%	16.11%	13.31%
17	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55%	8.04%	10.86%
18	eMAXIS 最適化バランス（マイフoward）	0.55%	10.34%	15.30%
19	eMAXIS Slim 国内債券インデックス	0.13%	2.42%	-2.23%
20	eMAXIS Neo 自動運転	0.79%	35.30%	17.92%
	残高加重平均（◆）	0.10%	14.88%	22.63%

＜本資料の図表データに係るディスクレーマー＞

【図4】レーティング4以上のファンド数推移／占有率

- 「Fundmark」は、国内で販売されている追加型投資信託の運用実績を用いて、各商品ごとにパフォーマンスの比較・評価を行っています。それぞれ運用方針の異なる投資信託には、多くの異なる要素が存在し、横並びで比較・評価を行うことは容易ではありません。

そこで、NRIでは、独自の調査に基づき、運用方針や運用実態に沿って投資信託の分類（Fundmark分類：約300分類）を行っています。同一分類内において、投資信託のパフォーマンスを相対的に評価し、順位（ランキング）や☆印による5段階の評価（レーティング）を発表しています。

- ※ 追加型投資信託の内、評価対象となるものは、アクティブファンド、トラックレコードが3年以上のファンド、過去3年の平均運用残高が10億円以上、かつ評価最終月の運用残高が10億円以上のものに限り（ひとたび評価対象となった場合には、評価期間中の平均運用残高が10億円以上、かつ評価最終月末の運用残高が8億円以上であれば対象を継続）。また、上記の条件を満たす投資信託が10本以上存在するカテゴリ（小分類を為替分類で細分化した分類）に属するものに限り。

- Fundmarkレーティングはあくまで過去のデータを分析したものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

Fundmarkレーティングは、投資判断・資産運用の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘等を目的としたものではありません。

Fundmarkレーティングのいかなる部分も、その著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社野村総合研究所又はその許諾者に帰属しており、いかなる目的であれ、電子的、機械的、光学的、その他のいかなる手段によっても、株式会社野村総合研究所の書面による同意なしに、無断で複製、引用、転載又は転送等を行うことを禁止いたします。

株式会社野村総合研究所は、Fundmarkレーティングの正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等につき、いかなる保証も行いません。また、Fundmarkレーティングの利用に起因する利用者およびその他第三者のいかなる損害についても、株式会社野村総合研究所は一切の責任を負いません。

【図5】ファンドアワード受賞本数

- 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

- LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間 3年、5年、10 年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、<https://www.lipperfundawards.com/>をご覧ください。LSEG Lipper は、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

- Morningstar Awards 2024 ©. Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

ここに含まれる情報は、(1) Morningstar および/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2) 複写または配布は禁止されており、(3) 正確性、完全性及び適時性のいずれも保証するものではなく、また(4) 投資、税務、法務あるいはその他を問わず、いかなる助言を構成するものではありません。ユーザーは、この情報の使用が、適用されるすべての法律、規制、および制限に準拠していることを確認する責任を単独で負います。Morningstar およびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

2025年7月1日 公表

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号 加入協会／一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJアセットマネジメントのお問い合わせ先：お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034
（受付時間／営業日の9:00～17:00）ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

